

実践経営学会会報

ご 挨拶

実践経営学会会長 井形 浩治 (大阪経済大学)



『実践経営学会会報』(第83号)をお届けいたします。

新年度に入って、早、2か月が過ぎようとしています。会員の皆様におかれましては、ご所属の変更や、組織内での役割の変更などに伴い、ご多忙にお過ごしになられた方も多いのではないかと推察いたしております。

実践経営学会本部におきましても、前年度の終わり頃から、機関誌の査読論文集『実践経営53号』の編集などに追われる毎日でしたが、何とか作業を終えて、発刊の運びとなりました。論文の査読に携わっていただきました委員の先生がた、煩瑣な事務作業に携わっていただきました事務局の方が、関係諸理事の方々にも、この場をお借り致しまして深く感謝申し上げます。

加えまして、本年は、学会の理事選挙実施の年にあたり、事務局では大忙しの日々が続いてまいりました。すでにご通知を差し上げておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

さらに本号の『会報』でお知らせ申し上げました通り、近畿大学にて開催される第59回の全国大会の準備が、常任理事会、関西支部会、そして本部事務局との密接な連携のもとに進められております。多くの会員が東大阪の地で集い、未来に向けての有意義な研究情報の交換ができますことを、お互いに楽しみに致しましょう。プログラムをお届けできます以前に、ご参加のご決定をいただけますようお願いいたします。

そして来る次年度は、本学会設立50周年を迎えます。昨年度の全国大会(亜細亜大学)における基調講演・シンポジウムを『学会創設50周年記念事業』の一つとして、『実践経営のフロンティアー東アジアから西アジアへの路』(仮題)に別冊としてまとめる作業も、一方で進めております。

これを機に実践経営学会・東アジア経営研究会も、方法を変えて新たな出発が始まろうとしています。今後とも、会員諸賢のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年4月半ばに熊本県熊本地方に大きな地震がありました。震源地は、これまでの『実践経営』の発行に、半世紀にわたって携わっていただきました株式会社マインド様、シモダ印刷様の所在地でもありました。以来、揺れが長期にわたりましたが、早期に収まりますことを、全会員を代表いたしまして念じておりました。謹んでお見舞い申し上げます。

実践経営学会第59回大会のご案内

第59回大会実行委員長 田中 敬一

(近畿大学経済学部)



ご挨拶

実践経営学会第59回大会は、2016年9月9日(金)～11日(日)の3日間、近畿大学(大阪府東大阪市)において、下記の統一論題のもとに開催されます。

今回の全国大会は来年度開催予定の第60回記念全国大会のプレ大会となり、近畿大学で開催させて頂くことをたいへん光栄に思っております。プレ大会として恥じることなく開催できればと考えておりますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

また自由論題におきましても、多数のご報告をお待ちしております。「研究・情報交換会」では近大マグロの試食も企画しております。ご期待下さい。

【統一論題】

「実践経営における情報システムの課題」

【解題】

ICT (Information and Communication Technology) の進化により実践経営にも大きな変革をもたらしています。そのため、企業経営における情報システムの活用がますます重要となっています。一方、情報システムの運用では、セキュリティ対策を講じなければ、大きな経営リスクにつながります。

今回の統一論題では、情報システムの活用と情報セキュリティ対策についての講演をとおして、現在の情報システムの課題について検討してみたいと考えています。実際にパソコンやタブレットを使った実演体験も企画しており、より現実的な事例について探求していきたいと思います。

【プログラムの概要】

*詳細なプログラムは、6月下旬にお届けします。

9月9日(金) 夕刻:理事会

9月10日(土) 午前:自由論題

午後:1. 開会式

2. 統一論題シンポジウム(基調講演・質疑)

夕刻:研究・情報交換会

9月11日(日) 午前:自由論題

午後:総会

【ホテルのご案内】

「近畿大学・実践経営学会第59回全国大会参加」とお伝えください。以下の特別料金の適用となります。現在、大阪のホテル稼働率が高くなっています。お早目のご予約をお勧めします。

☆U・コミュニティホテル(近鉄河内小阪駅徒歩2分) ※近畿大学まではタクシーで1000円程度です。

〒577-0036 大阪府東大阪市御厨栄町1丁目3-30 TEL:06-6784-3000

URL: <http://www.u-community.co.jp/>

シングル1泊(9/9(金)) ¥6,520(税込) シングル1泊(9/10(土)) ¥7,830(税込) 朝食¥1,134(税込)

第59回全国大会 自由論題報告者の募集について

第59回全国大会における自由論題報告者を下記の要領で募集いたします。多くの会員の皆様のご応募をお待ちしております。

1. 応募資格

- (1) 会員であること（非会員との共同報告は認められておりませんので、応募に際しては入会手続きをお願いいたします）。
- (2) 2015年度までの年度会費に未納がないこと（共同報告者も同じ）。
- (3) 2016年度会費が、報告論文の提出期限2016年7月10日(日)までに納入されていること（共同報告者も同じ）。

※在外会員で報告をご希望の方は、本部事務局(jsam.headoffice@gmail.com)までお問い合わせください。

2. 応募方法

下記の項目を明記の上、下記の「**実行委員会アドレス**」へお申し込みください。メールの件名は「JSAM第59回大会自由論題報告応募」としてください。共同報告の場合は、共同報告者の(1)、(2)、および主たる報告者の(5)についても明記してください。なお、報告日時のご希望はお受けできません。

- (1) 氏名(ふりがな)
- (2) 所属機関名・肩書(大学院生の場合は「課程」を明記)
- (3) 報告テーマ
- (4) 報告論文の概要(400字程度)およびキーワード(3～4語)
- (5) 連絡先(メールアドレス、郵便番号、住所、電話・FAX番号)

※Eメールを日常使用されない方は、期限までに大会実行委員会あてに郵送でご応募ください。

※自由論題報告は、9/10(土)午前、および9/11(日)午前を予定しています。

3. 応募期限 2016年6月6日(月) 17:00必着

※これを受けて、常任理事会へのプログラム案の策定、その他の事務手続きに入りますので、期限厳守をお願いいたします。

4. 報告論文の提出期限 2016年7月10日(日) 厳守

提出期限までに報告論文が届かない場合には、『実践経営学研究』への掲載ができなくなるとともに、大会プログラムに報告予定が記載されていても、大会当日の報告は認められないことになっております。

加えて、次年度における全国大会での報告についても制約を受けることになっておりますのでご注意ください。

5. 報告論文の提出

本学会の全国大会におきましては、慣例として、いわゆる「大会予稿集」「レジュメ集」などは作成しておりません。代わりにフルペーパーの公式論文集『実践経営学研究』を編集・刊行し、大会当日に配布することになっております。そのため、報告者は、作成した報告論文を、「**実行委員会アドレス**」まで、メール添付にてお送りください。メールの件名(表題)は「JSAM第59回大会報告論文送付」としてください。

また、編集作業の都合上、報告論文はWordによる作成をお願いいたします。校正の機会は設けておりません。

なお、Eメールを日常使用されない方は、報告論文を紙媒体、またはCD-ROM等の電子媒体に書き込み、期限までに大会事務局あてに郵送でご提出くださるようお願い申し上げます。

送付先(大会事務局):〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
近畿大学経済学部 田中敬一研究室内
実践経営学会第59回全国大会実行委員会 宛

6. 報告論文の執筆要領

- (1) A4版横書き(1ページは40字×40行)で8~10ページ(図表、注釈、参考文献等を含む)。
- (2) 1ページ目は、まず、下記の項目を明記し、□(罫線)で囲む(1行に入らない場合は、ポイントを下げ調整する)。
 - ① 論題名(メインタイトル) 和文14ポイント(明朝)、英文半角10.5ポイント(Century)
 - ② 副題(サブタイトル) 和文12ポイント(明朝)、英文半角10ポイント(Century)
 - ③ 所属・氏名 和文11ポイント(明朝)、英文半角10.5ポイント(Century)

(例)

～のマネジメントに関する事例研究～ A Case Study of Management of ～ 近畿大学経済学部□□□□田中□敬一 Kindai University□□□□Keiichi Tanaka

- (3) 最終ページの36行目以降は余白とする。
- (4) 本文構成は、「はじめに」、「章・節(1.、2.・・・)」、「項((1)、(2)・・・)」等とする。
- (5) 本文中に、目次、構成等の表示はしない。
- (6) 本文は10.5ポイント(明朝)とし、引用部分の表示、図・表の出展表示、文末注釈については10ポイント(明朝)とする。
- (7) 表のタイトルは「表1・・・」とし、当該表の上部に表記する。
- (8) 図のタイトルは「図1・・・」とし、当該図の下部に表記する。

※[6. 報告論文の執筆要領]に関するお問い合わせは、本部事務局(jsam.headoffice@gmail.com)までお願いします。

7. Cancellation Policy

大会での報告機会を確保したにもかかわらず、大会当日・当時刻に、相当の理由なく欠席されますと、次年度における全国大会での報告ができなくなります。欠席せざるを得ない事情が発生しましたら、できる限りすみやかに実行委員会までご連絡ください。

8. その他

何かご不明な点がありましたら、「実行委員会アドレス」、もしくは本部事務局(jsam.headoffice@gmail.com)までお問い合わせください。

第59回全国大会実行委員長 本部長 田中 敬一(近畿大学)
大会実行委員会事務局長 理事 稲田 賢次(大阪学院大学)
実行委員会E-mail: jsam.kansai@gmail.com

会員の異動(入会・退会) 2015.10.1～2016.3.31

入会会員 9名(敬称略)

お名前	ご所属	推薦人	担当 支部	入会承認日
吉川 祐介	神戸大学経営学研究科博士課程前期M2	田中 道雄(大阪学院大学) 稲田 賢次(大阪学院大学)	関西	2015/10/10
七野 由久代	近畿大学経済学部非常勤講師	田中 弘(近畿大学) 田中 敬一(近畿大学)	関西	2015/10/10
金井 秀介	立命館アジア太平洋大学教育開発 学習支援センター准教授	平野 文彦(日本大学) 島田 裕司(駒沢女子大学)	九州 沖縄	2015/11/1
森下 信雄	北摂演出研究所代表	田中 敬一(近畿大学) 稲田 賢次(大阪学院大学)	関西	2015/11/11
中松 由佳	マツダ株式会社グローバル販売 マーケティング本部	濱田 恵三(流通科学大学) 田中 道雄(大阪学院大学)	中国 四国	2015/12/02
徳丸 史郎	法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程	平野 文彦(日本大学) 増山 正紀(増山人事労務センター)	関東	2015/12/24
谷田貝 孝	宮崎大学 地域資源創成学部 教授	根岸 裕孝(宮崎大学) 井形 浩治(大阪経済大学)	九州	2016/2/22
國崎 歩	鹿児島国際大学大学院 博士後期課程	黒川 和夫(Knetコンサルティング) 藤田 紀美枝(元日本橋学館大学)	九州	2016/02/22
小栗 亮一	南山大学大学院 ビジネス研究科経営学専攻博士後期課程	大島 俊一(中部大学) 向日 恒喜(中京大学)	中部	2016/03/16

退会者 24名(敬称略)

大崎 透	小林 弘知	陳 亮	登坂 一博	藤木 政和	森 誠
太田 光雄	サラムラムハリ	友杉 芳正	夫 起徳	増田 辰弘	横井 三郎
奥田 裕樹	竹田 茂生	中多 英二	夫 光植	水野 隆張	和田 菊雄
尾崎 茂	武野 昭	中村 雅章	福永 栄一	室本 誠二 (ご逝去)	和田 良一

各地での支部活動

本学会では、年次の全国大会開催のほかに、これを補うことを目的として、全国の8都市に支部が置かれており、適宜（年に2回程度）、実地研究、地域研究、研究発表、会員相互の交流・親睦等の活動が行われています。

会員はすべて住居地あるいは勤務地等によって、8支部のいずれかに所属することになっており、各支部長より、支部活動の予定が、eメール、又は郵便等の方法によって伝えられます。

会員は、配属された支部会への参加が義務づけられるものでもなく、原則として、全国のどこの支部活動へも参加ができることになっています。ただし、プログラムの内容や準備の都合上、参加できないこともあります。またその時の天候、交通、その他の事情により、活動が中止または順延されることがありますので、不意の参加は避けてください。あらかじめ当該支部長にメールアドレス等により、事情をお問い合わせください。

なお、各地の支部活動は、実践経営学会のホームページにて、すべての会員に対して周知されています。

なお、支部会における研究報告は、1年に1回、学会本部から刊行される機関誌『実践経営』への投稿資格の一つとなることが定められています。積極的な参加をお勧めします。

在外会員の方は、本部事務局jsam.headoffice@gmail.comへお問い合わせください。

各地の支部の概要は以下の通りです。

北海道支部

支部長 菊池 真一（北海商科大学）
連絡先 TEL&FAX: 011-577-9278
E-Mail: jsam.hokkaido@gmail.com

東北支部

支部長 三森 敏正（石巻専修大学）
事務局長 浅野 浩子（仙台白百合女子大学）
支部顧問 吉田 信一（富士大学）
連絡先 TEL: 0198-23-6221
Fax: 0198-23-5818
E-Mail: jsam.tohoku@gmail.com

関東支部

支部長 夏目 重美（亜細亜大学）
連絡先 E-Mail: jsam.kanto@gmail.com

北陸支部

支部長 田中 晴人（金沢学院大学）
事務局長 谷畠 範恭（金沢星稜大学女子短期大学部）
支部顧問 水谷内徹也（富山大学）
連絡先 E-Mail: jsam.hokuriku@gmail.com

中部支部

支部長 大島 俊一（中部大学経営情報学部）
事務局長 向日 恒喜（中京大学経営学部）
連絡先 〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学
TEL: 052-835-7111（代）
E-Mail: jsam.chubu@gmail.com

関西支部

支部長 田中 敬一（近畿大学）
事務局長 稲田 賢次（大阪学院大学）
連絡先 E-Mail: jsam.kansai@gmail.com

中国・四国支部

支部長 小原 久美子（県立広島大学経営情報学部）
連絡先 TEL&FAX: 082-251-9743（小原研究室直通）
E-Mail: jsam.chuugoku.shikoku@gmail.com

九州支部

支部長 伊佐 淳（久留米大学経済学部）
事務局長 増山 正紀（増山人事労務センター）
連絡先 E-Mail: jsam.kyusyu@gmail.com

支部会からのご案内

第 67 回 実践経営学会 関西支部会のご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第67回の実践経営学会関西支部会を次の要領にて開催いたします。お忙しい時期ではありますが、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

関西支部会 支 部 長 田中 敬一
事務局長 稲田 賢次

記

■日時：平成28年6月18日（土）午後3時00分～5時30分
※終了後懇親会開催

■場所：京都産業大学むすびわざ館3F3A教室(京都市下京区) ※HPでご確認ください

■参加費：会員1,000円（非会員1,500円、院生【学生】無料）

■懇親会費：4,000円（※事前申込が必要です）

※懇親会参加は6/10までに、李為先生宛(lee@cc.kyoto-su.ac.jp)にメールでお申し込みください。
なお、当日のキャンセルは実費ご負担となります。

■スケジュール（トータル70分：発表45分 コメント5分程度 質疑応答20分程度）

2:30	受付開始
2:55～3:00	開会挨拶 田中 敬一（近畿大学） 総司会 李 為（京都産業大学）
3:00～4:10	報告者：山下 香（流通科学大学） テーマ：集合住宅における専有部分の改修が共用部分の管理に与える効果に関する考察 －長期優良住宅化リフォーム推進事業を通じた実践を通して－ 座 長：辻本 乃理子（流通科学大学） コメンテーター：橋本 行史（関西大学）
	休憩10分
4:20～5:30	報告者：松田 温郎（山口大学） 渡邊 孝一郎（九州産業大学） テーマ：商人家麴究の識 座 長：稲田 賢次（大阪学院大学） コメンテーター：松井 温文（追手門学院大学）
5:30～5:35	閉会挨拶：井形 浩治（大阪経済大学） 連絡事項等
6:00 ～	懇 親 会

実践経営学会事務局からのご連絡

■ 住所・勤務先などの変更届のお願い

住所や勤務先、メールアドレス等が変更となった会員の方は、
jsam.headoffice2@gmail.com (会員情報管理専用メールアドレス) までご連絡ください。

■ 理事選挙についてのお知らせ

5月17日に「理事選挙実施のご依頼 書類一式」を、選挙権を有する会員に送付いたしました。同封の理事選挙実施要領をご覧ください、投票用紙を投票期間中(平成28年6月1日(水)から6月13日(月)(消印有効))に同封の返信用封筒にて郵送ください。よろしくお願いいたします。

■ 第49期 会費納入のご案内

間もなく、第49期の会費納入のご案内を皆様にお届けしますので、よろしくお願いいたします。

学会活動は会員の会費によって支えられております、全国大会および各地域支部会における報告資格は、「年会費を納入済みの会員」となっております。ご注意ください。

お問い合わせは、jsam.headoffice2@gmail.comまで。

■ 各支部からのご連絡などは、学会ホームページをご覧ください

実践経営学会ホームページ(<http://www.jsam.org/>)では最新情報を随時掲載しております。

各支部からの情報は、ホームページをご活用ください。

■ 全国大会の詳細について

更に詳しい内容は本会報次号でお知らせいたします。

実践経営学会・国際学術大会の終了につきまして

実践経営学会東アジア経営研究会

会長 横澤 利昌

(ハリウッド大学院大学教授)

謹啓 惜春の候 皆様におかれてはご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、実践経営学会東アジア経営研究会の学術大会は、平成15年に学会の会長に就任した際、学会の国際化の目的で、平成17年(2005年)第1回中国(上海)の大会をもって始まり、昨年11月(2015年)日本(東京)で行った第10回国際学術大会をもって当初の目的を達成し一先ず終了することといたしました。

顧みますと第1回から第7回までは毎年中国、韓国、日本の順に持ち回りで大会を開催してまいりましたが、第8回以降は開催出来ない年もあり、極東情勢の影響から国際学術大会は、韓国と2か国となり、加えて大会を運営する会長以下事務局は高齢化し、しかも人員も少ないため運営にしばしば支障が出てきておりました。このような状況から、今後は国際学術大会の継続が困難な状況になりましたことをご理解頂きたいと存じます。

思えば、平成13年(2001年)実践経営学会の1部門として『中国を考える会』が発足し、その後、研究例会を重ねていくなかで中国と韓国と日本との3箇国による『日中韓・学術大会』の開催に発展し、第1回：中国上海経済管理幹部学院(上海)、第2回韓国：東義大学校(釜山)、第3回日本：亜細亜大学(東京)、以下第7回まで3箇国で毎年順繰りに行なってきました。ここで1年飛び越して第8回を韓国：ソウル大学、第9回・第10回を東京：ハリウッド大学院大学で開催してきました。大会を運営する事務局は、当初小倉光雄会員、中国総研・金鉄成会員、次いで乃村晃会員、今野茂雄会員が困難な運営を担当され御礼の言葉もありません。

この間、参加者数は、第1回大会当時には 20余名の錚々たる先生方が参加されていましたが、その後、少しずつ変化し、最近の大会では、大学院生や研究者の会員による英語発表も多くなり、時代の流れを感じておりました。

この間、皆様には10回に亘り学術大会について陰に陽にご支援ご協力を賜り深甚なる御礼を申し上げる次第です。なお、第10回国際学術大会の本稿集については英文のため掲載・発信とまで至らず、なんらかの形で後の事業として鋭意行って参りたいと考えております。10年間の経緯につきましては有志のご協力をいただき、少しずつ公表していく予定であります。

また研究例会については、これまで以上に開催される予定になっておりますので、引き続きご参加いただきますようご案内申し上げます。連絡先は学会ホームページをご覧ください。

最後に、重ねてこれまでの10回に亘る学術大会へのご支援、ご協力に対し衷心より厚くお礼申し上げますとともに、各位の益々のご発展を祈念申し上げます。

謹白

平成28年5月吉日

実践経営学会研究者倫理綱領

実践経営学会は、学術研究の自律性が社会からの信頼と負託の上に成り立つことを自覚し、常に良心と信念にしたがって、自らの責任で行動しなければならないという考え方に立って、以下の通り「研究者倫理綱領」を定める。

— 2008.9.13 実践経営学会会長 平野 文彦（日本大学） —

A. 研究の課題について

1. 常に「世界の平和」、「人類の福祉」、「社会の発展」および「物心両面からの豊かな社会の実現」に貢献するための公共的・公益的使命を意識すること。
2. 常に「宇宙と地球の資源」、「社会の資源」および「人的資源」の持続可能な利用を意識すること。

B. 研究の姿勢と方法について

3. 常に「生命倫理、人権の尊重、および動物愛護の精神」を踏まえた「高潔な信念」、良心と正義」、および「社会的責任感」を確立すること。
4. 常に「法令遵守の意識」を持つことはもとより、常に「社会正義」に寄与すること。
5. 常に、「正直で、恥じることのない行動」をとり、「誇りと品性」を保つこと。そのためには、研究のデータのねつ造、偽造、論文の剽窃などを行わないこと。個人の見解と他者の見解を明瞭に区分するとともに、自己の見解には責任を十分に自覚すること。

C. 研究の環境について

6. 常に、自由で関連な研究行動が円滑に進むよう、研究環境の改善に努めること。研究の条件や環境が不足していることを理由とした不十分な研究は許されない。

2008. 9. 13常任理事会決定

同日、理事会および会員総会承認

以 上

実践経営学会

JAPAN SOCIETY FOR APPLIED MANAGEMENT

発行日：2016（平成28）年5月31日

発行者：会長 井形 浩治（大阪経済大学）

編集責任者：本部長 田中 敬一（近畿大学）

発行：〒533-8533 大阪府大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学経営学部内

FAX：03-3219-3382 E-mail：jsam.headoffice@gmail.com

制作：（株）マインド